

ラジコン“模型飛行機文化”を守るため、 ‘新’航空法（ラジコンに係わる部分）の施行に反対します！ 『反対署名活動』にご協力を！

令和4年より、無人航空機に対し、以下の①、②、③の条件が課されようとしています。ドローン（GPS／自律安定装置／カメラ搭載）とラジコン等模型飛行機では、決定的な違いがあります。私たちは「ラジコン模型飛行機の定義」を規定し、新法からの除外を求めます。

①「1機ごとの（有料）登録申請」が必要となる。

有効期限は3～5年！?

反対理由: そのような煩わしい対処が必要となれば、「これを機にラジコンをやめよう」となるでしょう。マニアの所持機は平均10機以上、愛好者仲間の減少が始まります！ 登録申請は、スマホ、パソコンからが基本です。紙申請も可能になるらしいのですが、この場合は登録に時間が掛かります。

②「下限重量規定が200g→100g以上」と大幅な引き下げとなる。

反対理由: 模型飛行機の入門者は激減するでしょう。この規定だと、エントリー・モデルともいえるトイ・ラジコンまで対象となってしまうのです。

③「リモートID搭載」が必須となる。リモートID（自機情報発信機）は、航空局の情報では、例として寸法2×5×10cm、重量100gが表明されている。

反対理由: グライダーやパイロン機では、形態上搭載

は不可能です。また、日常のスポーツ・フライト愛好家の多い固定翼、回転翼機分野ともに、ほぼ3kg以下の機体では搭載不可であり、多くのカテゴリーが影響を受けます。FAI規定競技も開催不能でしょう。

★上記の②と③を勘案すれば、現行の下限200gであっても、リモートID搭載となれば機体は100gであるため、物理的に搭載・飛行は不可能です。また、改正後下限100gの機体では、リモートIDだけの重量となり、ともに飛行できる物体ではあり得ません。これらは実現不可能なものであり、善良な模型愛好家はもとより、常識ある国民の誰もが納得できる法律とはとても言えません。

★署名は次ページの専用紙にて（コピー可）。ご家族をはじめご友人の皆様にも広く賛同を呼びかけて頂き、反対署名にご協力のほど、何卒宜しくお願い申し上げます。

令和3年5月10日

‘新’航空法（ラジコンに係わる部分）施行
反対署名実行委員会

発起人：

吉岡嗣貴（日本ラジコン電波安全協会理事長）

鈴木明久（日本ラジコン模型工業会会長）

増田 勉（日本科学模型安全委員会会長）

ご署名の送り先は右の宛先へ。集計期限は7月末日とさせていただきます。恐れ入りますが、郵送料ご負担でご協力下さい。

お問合せ：

☎03-3418-4111（本誌編集部）

メール：editor@rc-tech.co.jp

送り先／切り取って封筒にお貼り下さい。
コピーまたは手書きでもかまいません。

84円分の
切手をここに
貼ってください

1 5 4 - 0 0 0 2

東京都世田谷区下馬6-15-4

株式会社 電波社
ラジコン技術 編集部

‘新’航空法署名係

【ご署名欄】

新航空法におけるラジコン機の個別登録、100g規制、リモートード搭載に反対します。

お名前

ご住所

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--